

逍遙館長のところ

「それぞれの12月、のところ」

12月7日 逍遙^{逍遙}

令和最初の年もあと余すところ凡そ3週間。仕事帰りにふと立ち止まった坂道に、悲しいほどに赤い落日。12月は、皆さん方もご存知の歴史上の人物たちにとっても、それぞれの人生の大きな転換と終わりの月でありました。

例えば、西郷が生まれたのはまさに今日。その西郷の亡き後、上野の西郷銅像建立で復活したのも今月18日でした。また年こそ違え同じ18日、篤姫が第13代将軍・徳川家定と結婚。一方、徳川慶喜が第15代将軍に就任したのは今月5日。翌年の今月9日の「王政復古の大号令」後、25日の薩摩藩芝屋敷焼き討ちがきっかけとなって、戊辰戦争へと歴史は大きく急展開していったのでした。また少し遡りますが、薩摩藩の財政改革に尽力し、ここでの蓄財等が後の集成館事業等でも貢献したとされる調所広郷が、幕府から密貿易の嫌疑を掛けられ、江戸の藩邸で自害したのも今月19日。

歴史上の人物たちにとっても12月は、それぞれの人生にとっても大きな節目の月でもあったことを、ここ黎明館でじっくりと感じ取ってみてください。

◎ 次回の予定 「赤穂義士討入と郷中教育、のところ」

